

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みやざきチャイルドセンター			
みやざきチャイルドセンター	～ 2025年 12月 12日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 11月 12日	～	2025年 12月 12日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 12日	～	2026年 2月 12日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 15日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種視点を活かした支援	それぞれの専門性を踏まえた助言内容を整理し、訪問先施設に 対して出来るだけ実践可能な支援の提案を行っている。また、 必要に応じてセラピスト等からの助言を受ける体制を整え、子 どもの発達特性を多角的に捉えた支援を心がけている。	多職種間での専門的知見の共有をさらに進め、支援の質の均 質化と根拠に基づく助言体制の強化を図っていく。
2	訪問先施設との協働姿勢が整っていること	訪問先施設の理念や支援方針を尊重し、担任の先生方の実践を 基盤とした協働型の支援を行っている。	訪問支援を助言的な役割に留めるのではなく、訪問先施設の 支援力向上につながるコンサルテーション機能の充実を図り、継続的な協働関係の構築を目指す。
3	訪問先との継続的な振り返り体制を 構築していること	訪問後には必ず担任の先生方とカンファレンスを実施、カン ファレンスでは訪問先施設の支援方針や担任の先生方の実践を 尊重しながら、助言・環境調整の提案を中心とした間接支援を 重視している。	提案内容の実施状況や効果を定期的に確認することで、支援 の有効性を高めつつ、必要に応じてフォーマルアセスメント を実施し、その内容も通園先の先生方と共有をはかってい く。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問体制の整備の強化が必要な点	児童発達支援との多機能型事業所として運営していることか ら、訪問支援に充てられる人的資源が限られており、体制の安 定的な整備については引き続き検討が必要である。	訪問支援の実施状況や課題について定期的に事業所内で共有 し、属人化の防止と安定的な体制整備を図る。
2	児童発達支援の利用外児童への対応の整理が 十分に出来ていないこと	1と同様の理由により、利用外児童への対応方針の明確化が十 分とは言えない状況である。今後、受け入れ基準および判断手順 の整理を行う必要がある。	利用外児童からの相談や依頼があった場合の受け入れ基準お よび対応手順を整理し、職員間で共有する体制を整備する。 支援の質が担保できる範囲内で、個別に検討・判断を行う仕 組みを構築する。
3	保育所等訪問支援の中では インフォーマルなアセスメントが中心になっていること	1と同様の理由により、標準化された検査等を十分に実施する 時間的確保が難しく、日々の行動観察や現場での実践を通して インフォーマルアセスメントが中心となっているため。	現在、日々の観察を中心に評価を行っているが、今後は以下 の活用も検討する。 ・新版S-M社会生活能力検査 ・Vineland-II ・S-AMPS

保護者からの事業所評価の集計結果									
事業所名		みやざきチャイルドセンター							
		公表日			2026年 2月 28日				
		利用児童数			2名		回収数 2件		
環境・体制整備		チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	0	0	1		
		2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	0	0	0		
		3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2	0	0	0	訪問先へ事業所や支援員さんからも説明をして頂いているのですが、なかなか相手施設に正確に伝わる事が難しいと感じます。	貴重なご意見をありがとうございます。また、十分にお伝え出来なかったとのこと、大変心苦しい思いです。頂いたご意見を十分に受け止め、説明の仕方、共有方法などを見直してまいりたいと思います。また何かありましたら、いつでもご意見お待ちしております。
適切な支援の提供		4	2026年 2月 15日	2	0	0	0		
		5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2	0	0	0		
		6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
		7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
		8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2	0	0	0		
		9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
		10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
保護者への説明等		11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
		12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
		13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
		14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	0	0	0		
		15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができると思っていますか。	2	0	0	0		
		16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		
		17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
		18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0		

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
満足度	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	2	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしているだと思いますか。	1	0	0	1		
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているだと思いますか。	2	0	0	0		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2026年 2月 28日	
みやざきチャイルドセンター		利用児童数		2名		回収数
チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2				
4	保育所等訪問支援を利用したことでの、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	1		困りごとについて、話をじっくり聞いて下さったり、助言もとても助かりました。ただ一人担任で対応する場合はどうしても突発的な対応に対応できず、難しさを感じる部分もありました（他児の人数や保育士の数の問題です）。	貴重なご意見をありがとうございます。園さまそれぞれの状況に合わせた提案に努めているところではございますが、突発時の対応についても念頭におきながらご提案出来ればと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みやざきチャイルドセンター				公表日	2026年 2月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	主には訪問先の教材教具を活用するため、あまり持つて行くことはない。感覚グッズなどは持つて行くこともあり、適切ではないかなと考えている。		
業務改善	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	回せる人数でしか受けとはいえない。リハビリも担当していることもあり、増えすぎると個別リハビリの対応が難しくなるかも知れないが、今の人數であれば妥当ではないかと考えている。	課題:センター利用でないお子様のご希望があつた際はどう対応するか。	
	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	訪問以外の業務も多いため、2人体制で訪問に赴く場合には行き帰りの車内で大方の情報の整理や方針立てなどの話をしながら帰園している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	前年度は訪問自体が無かったため、訪問に特化した保護者向け評価表が昨年までは無かつた。個別での報告書に加え、簡単にでも保護者送迎の際にお話をするようにしてきた。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	訪問者が2名で行ける機会も増えた為、より多面的に見れているのではないか。	訪問者同士での話に留まりやすい点は改善余地がある。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0			
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0			
適切な支援の提供	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・回覧や意見の聴取を実施。 ・園での様子や困っている事、等を聞き、支援方や声掛け、使えるツールがあればお伝えしている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	・アセス、担当者会議で意見を聴取して盛り込むよう意識している。 ・必ず、カンファレンスを行なっている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		適応行動についてのフォーマルアセスメントはしていない。新版SM社会生活能力検査や、vainland II、S-AMPSなどの活用は検討しても良いかもしれないと思う。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	園へ行くまでに話をしながらある程度の予測や支援策など話している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	訪問先でのカンファレンス、2人、それぞれ記録もとっている		

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	訪問に限らず、就学前には支援シートの作成や小学校のコーディネーターさんとのやりとりを実施している。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	引継ぎシートの作成、小学校へご連絡し、見学に来てもらうことやお電話での引継ぎを行なっている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	外部ではないが、セラピストの職員から助言を受けている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	管理者が参加している	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	今年度ペアトレを2回実施	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	6ヶ月間隔で、モニタリングを開催。(児発と同じ時にはお話をしている)	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1	父母会や保護者会はないが、親子イベントを開催して積極的に交流の場を設けることに取り組んでいる	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	ホームページで公開している	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	基本的には間接支援を多く用いて、先生の工夫の文脈を崩さないようにしている。その上で、取り組めそうな量の工夫を話し合ったり提案するように意識している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	早期に対策を検討し、実施している	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		